



かがやきだより

令和7年12月



一年を締めくくる12月も、残すところあとわずかです。

12月の和風月名である「師走」。その由来にはいくつかの説がありますが、もっともよく知られているのは、普段は落ち着いている師（僧侶）でさえ年末は仏事で東西を走り回るほど忙しくなるという説です。お歳暮の準備や大掃除、新年の支度など、何かと気忙しいこの時期の様子が目に浮かぶようですね。

その他にも、年が果てる月という意味の「年果つ（としはつ）」が変化したという説や、四季の終わりを意味する「四極（しはつ）」から来たという説、12月は1年の最後で今年のうちにやるべきことは全部やりとげる月という意味で、「為果つ（しはつ）」が元になっているとも言われたり、さまざまな由来が語り継がれています。どの説が真実であれ「師走」という言葉には一年の終わりを惜しみながらも、人々がせわしなく活動する様子が込められているようです。

さて、今年一年の世相を示す「今年の漢字」が12月12日、京都の清水寺で発表され、「熊」に決まりました。「今年の漢字」はハガキやインターネットなど全国からの投票で選ばれますが、熊の出没が増えた事が背景にあり、社会全体の課題を反映するものとされています。



2025年は全国各地で熊による被害が相次ぎ、市街地にまで熊が出没するなど、生活や経済活動にも深刻な影響を及ぼしました。環境省によると今年に入り東北地方を中心に全国で過去最多の230人（12月5日時点）が被害に遭い、13人が犠牲となっています。2025年の危機をもたらした要因には、堅果類（ブナ、ドングリなど）の大量作の他、気候変動、農村部の過疎化、熊の個体数増加、狩猟者の減少と高齢化といった、一時的なものではなく抜本的な対策なしに改善されない構造的な問題が挙げられ

人と自然の共存の難しさを象徴しています。

因みに2位は「米」で1位「熊」との差は僅か180票。3位は「高」でした。

そんな2025年、皆様にとってどんな年でしたか？無事に一年が過ごせたことを、グループホームかがやき職員一同、ご縁のあった皆様へ感謝申し上げます。

一年間大変お世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願い致します。皆様、良いお年をお迎えください。

令和7年12月・令和8年1月の予定

理容：12月15日(月)、1月19日(月)
12月23日(火) クリスマス会

～落走り保育園と
オンライン交流～

美容：12月22日(月)、1月26日(月)
1月8日(木) 1月生まれ 誕生日会
1月15日(木) 14:00～ 運営推進会議
2階理学療法室にて



インフルエンザが流行しております。その他冬に多い感染症もあり、年末年始は人の動きが活発になります。日々の健康管理や無理なスケジュールで行動しないなど、お体に気を付けてお過ごし下さい。

令和7年12月26日